

倉庫業における転倒災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	19～20	倉庫の出入口の階段を荷物（冷凍商品15kgぐらい）を持って下りる際に、階段が凍っていて滑って転倒し、階段を転げ落ち（4段位）、持っていた荷物を足に落とすしてしまい、右足の腓骨を骨折した。	39～299	100
1	8～9	駐車場に車を止めて降車し道路を歩いていた際、置き石が盛り上がり段差がついていたため右足を引っ掛けて倒れ、両手に擦り傷、右わき腹を負傷した。当初は痛みがあったがそのまま勤務し、後日に右肩・右腹・左ひざの打撲と診断された。	57～999	500
1	14～15	被災者（以下「甲」という）は当センターにおいて衣料品の仕分け、たたみ作業に従事していた。甲は、作業場の通路を同僚と並び歩行中に、甲が同僚の前に出ようと追い越そうとした際、同僚の右足に甲の左足が引っかかり、前方へ転倒した。転倒時、床に右大腿部を打ちつけ受傷した。	58	—
1	9～10	ハンドフォークを使用して空パレットを、E・Vに積み込んだ後、残りのパレットを取りに行こうとした。ハンドフォークを後ろ手に持って歩行中に、自分自身の足がもつれ、その拍子に転倒し、左膝部を地面に強打した。周りに障害物もなく、通路幅も確保されていた為、本人の注意不足が原因と思われる。	51～29	10
1	11～12	被災者は、倉庫内にて作業途中、トイレに行くため、小走りでトイレに向かった。貨物用エレベーターのハンガーラックを避けるためにターンをしたところ、体重が掛かっていた右足をひねって転倒した。	50	—
1	15～16	請負先において、第2ローリー場タンクローリー受け入れ作業終了後、該当バルブの閉止作業中に強風にあおられ転倒し、配管の間に右足を挟み骨折した。	52～29	10

1	8~9	<p>出社後、駐車場から社屋に行く際、路面が凍結していたため、足を滑らせて尻餅をつく状態で転倒し負傷した。</p>	53	50 ~ 99
2	11~12	<p>入荷口において、カゴ車（奥行約50cm・幅約60cm・高さ約150cm・重量約50kg）を屋外へ移動させようとした時、カゴ車のタイヤが溝（深さ約1cm）にはまり転倒し、コンクリート床とカゴ車との間に右足を挟み負傷した。</p>	67	50 ~ 99
2	15~16	<p>2人で冷蔵庫内で荷役作業を終えた後、庫外に出ようと1人が先に荷捌き場に出る扉を開けた際に、それに続いて庫内から出ようと走って出入り口に近付いたところで、足を滑らせて転倒し腰部を強打した。転倒後、自立して庫外に出たが、庫外・荷捌き場で椅子に腰掛けたところで痛みと痺れから動けなくなった為、救急搬送を要請し、搬送された。救急病院で、痛み止め処置後、帰宅が許された。後日、再受診し、腰椎横突起2ヶ所骨折、1ヵ月間安静と診断された。</p>	32	10 ~ 29
3	11~12	<p>3階の事務所で軽い封筒を持って立ち上がり、移動していたところ、右側に置かれていたダンボールに躓き転倒し、右膝を強打した。</p>	60	100 ~ 299
4	14~15	<p>2階発送作業フロアにて、化粧品等商品のピッキング作業中、商品を積むパレットが密集しており足を取られて転倒し、左脇下・右膝を打ちつける。転倒時、左脇下に商品の一部が突き刺さるような形になり、腫れ・痛みがひかない状況が続いている。</p>	56	100 ~ 299
4	10~11	<p>検品エリアで作業中、納品があったため小走りで移動していた際に、作業レーンのコーナーガードにブルゾンの袖が引っ掛かり、仰け反った態勢となり、右足を折り畳み、左足は伸ばした状態でしりもちをつき、右足に全体重がかかってしまった。安全靴は着用していたがアキレス腱ガードのついた固定されているタイプであった。</p>	40	100 ~ 299
4	18~19	<p>退勤後、センターのプラットフォーム（トラックが荷物の積み下ろしをおこなう場所）から踏み台へと降りようとして、プラットフォームで足を滑らせて地面へと転落し、左手首を負傷する。</p>	48	100 ~ 299
		<p>倉庫内で商品搜索のための移動中に、出荷用パレットに躓き転倒した。発生時に</p>		50

4	20～ 21	作業帳票を見ながら移動していた事で、歩行導線から外れた。足元の確認不足から、作業箇所を設置していたパレットに気付けなかった。	51	～ 99
5	18～ 19	7F物流棟作業現場において、歩く方向を転換した際に躓いて転倒した。転倒する際にラックの棚板に右頬をぶつけ、さらに床に左膝を打ちつけてしまった。	40	50 ～ 99
6	12～ 13	冷凍庫内奥の通路にて、ピッキング作業中、うつ伏せに転倒した。（転倒理由不明）社員が異音に気付き発見した。意識がない状態だったが、すぐに取り戻し台車にて庫外へ搬送した。その後、当社担当が到着し、自分の車で休んでいた本人と話す。目立った外傷や痛みなどが無いとの事で自宅に送り届ける。翌日自宅に伺うと、本人は自室にて意識不明の状態であった。119番通報後、救急車で病院へ搬送した。意識が戻らないまま、後日容体が急変し死亡に至る。	57	30 ～ 49
6	15～ 16	被災者が退社後、就業場所から被災者自宅まで移動しようとしたところ、就業場所敷地内駐輪場付近にて自転車に乗った状態で転倒し、右足を痛める。数日後、被災者より連絡があり、「数日経っても痛みがおさまらないため病院にて診察を受けたところ、右足の甲の骨折と診断された」との報告を受けた。	36	1～ 9
6	15～ 16	第一センターから第二センターに向かう連絡通路でつまずいて転倒した。その際、左手で支えようとしたが支えきれずに、左鎖骨を強打した。	43	30 ～ 49
6	15～ 16	作業場で商品の梱包作業中、オリコン（折り畳みコンテナ）を広げて振り返った際、バランスを崩し左手をオリコン内について転倒した。作業を継続しようとしたが、違和感があり、次第に力が入らなくなっていった。	52	100 ～ 299
7	11～12	冷凍倉庫内の出入り口付近にて貨物の積み付け作業中に床面に付着していた氷に足を滑らせて右足を捻った。	18	10 ～ 29
7	12～13	休憩から現場に戻る際に納品ドライバーの荷物を避ける際に足がもつれて転び、怪我をした。 （左膝下切り傷）	53	50 ～ 99

7	14～ 15	冷凍貨物を検数し、カゴ車に積替えてカゴ車を手で引き、1F庫内に仮置きする作業を行っていた。カゴ車を引いて冷蔵庫内へ向かい、曲がる際にカゴ車の車輪が右足に乗り上り、転倒し、右膝内側を振じりながら床に強打した。	54	10 ～ 29
7	14～ 15	1階構内にてピッキングの作業中、事務所に走って戻ろうとしたとき、地面に設置されている車止めのアングルに躓き転倒し、その際にアングルに膝を強打した。	25	30 ～ 49
7	21～ 22	センター1階において、消灯された区画の電気を点けようと、エレベーター前より電源ボックスへ移動する際、移動途中に置いていたプラスチックパレットに足を引っ掛け、顔面を強打し、下唇貫通創の怪我を負った。	52	50 ～ 99
10	9～ 10	補充作業中に、腰部保護ベルトを付けていないことに気づき、ロッカー室へ取りに戻る途中の廊下で、急いで小走りになっていたために足がもつれて転倒し、右膝を床で強打する。	64	100 ～ 299
10	12～ 13	構内、カゴ什器置き場からカゴ台車を移動しようとした時、背後を通りかかった業者が引いていたハンドリフトの爪に足を引っ掛け、後向きに転倒した。その際左手をコンクリートの床に叩き付け、手首を骨折した。	66	50 ～ 99
11	17～ 18	積込作業中、商品の乗っているパレットに足をぶつけて右足を痛めてしまった。	58	50 ～ 99
11	14～ 15	集金のため、バイクで走行中、センターラインのない道路の対向車線側を走っていた車が停車したところに、不注意で衝突して転倒し、右足を負傷した。	69	100 ～ 299
11	16～ 17	事業所内の食品仕分け作業場所の2階において、プラスチック製の箱を手前に引き寄せた時に、下に敷いてあるパレットに躓いてバランスを崩し階段の手すりに左腕をぶつけた際に骨折した。	61	50 ～ 99
11	14～ 15	荷物（一斗缶約15kg）を抱え運んでいた際、5号倉庫前の20cm位の段差を踏み外し転倒し打撲した。頸椎間板ヘルニア、頸部捻挫、右肩挫傷と診断された。	35	10 ～ 29

12	16~17	落雪による米検査室の窓ガラス破損と飛散防止のため、コンパネを窓枠に取り付ける作業の際、穀粉砕機室内にあったコンパネを両手で持ち室外へ出たところ、屋根から落下してできた氷の雪山に足をとられ、転倒し左膝を強打した。	35	10 ~ 29
12	16~17	販促品梱包作業場で、梱包作業に使用する、緩衝材入りの箱（縦51cm×横51cm×高さ72cm）を手に持ってラインの中に運ぼうとしたところ、ラインとの間の目測を誤り、函の左前とラインが接触し、はずみで後方に転倒した。転倒したときに右手を地面について負傷したものである。	50	100 ~ 299
12	10~11	コンテナ荷卸し作業が終了し、被災者が貨物を格納する際、先に格納したパレット積みの貨物が荷崩れしているのを見かけたため、脚立に上りネステナーへ移って荷崩れを直そうとしたが失敗し、足を踏み外して右脇腹を打ち転倒した。	42	50 ~ 99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html